



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 河合楽器製作所
コード番号 7952 URL <http://www.kawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総企画部長 (氏名) 金子 和裕

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

TEL 053-457-1227

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家、アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,414	△3.3	922	△20.8	805	△14.2	438	△25.9
24年3月期第2四半期	28,357	△2.3	1,165	△11.6	938	△2.8	591	125.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 484百万円 (△31.2%) 24年3月期第2四半期 704百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.12	—
24年3月期第2四半期	6.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	35,829		14,900		41.6	
24年3月期	36,525		14,758		40.4	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,900百万円 24年3月期 14,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭、記念配当 1円50銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△3.5	2,000	△20.9	1,700	△32.0	1,000	△37.8	11.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	85,610,608 株	24年3月期	85,610,608 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	89,752 株	24年3月期	88,981 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	85,521,023 株	24年3月期2Q	85,522,809 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州金融不安の継続や中国経済の成長鈍化等による世界経済の減速懸念、円高の長期化などから先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第3次中期経営計画」に基づき、モデルチェンジした最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を軸としたグローバルブランドの確立に取り組み、世界最大のピアノ市場である中国においては、生産・販売・音楽教室・調律の四位一体体制により事業拡大に積極的に注力しました。またグローバル生産体制の強化を図るとともに、将来成長が期待される新興国での販売や音楽教室の展開を推進しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 27,414 百万円（前年同期比 943 百万円減）となり、営業利益は 922 百万円（前年同期比 243 百万円減益）、経常利益は 805 百万円（前年同期比 133 百万円減益）、四半期純利益は 438 百万円（前年同期比 153 百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器事業)

楽器事業は、海外のピアノ販売は、欧州では個人消費の低迷や円高の影響により減少しましたが、中国において引き続き好調を維持し、北米でも堅調に推移しました。国内のピアノ販売は最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』が堅調に推移しましたが、消費マインドの冷え込みにより減少しました。

電子ピアノについては、本年より中国で販売を開始したことなどにより伸長しました。電子オルガンについては大型機種の販売が減少しました。この結果、売上高は 12,700 百万円（前年同期比 212 百万円減）となり、営業利益は 24 百万円（前年同期比 252 百万円減益）となりました。

(教育関連事業)

教育関連事業は、幼稚園・保育園教場の開拓に積極的に取り組みましたが、音楽教室の生徒数の減少により、売上高は 8,814 百万円（前年同期比 167 百万円減）となり、営業利益は 788 百万円（前年同期比 7 百万円減益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、自動車関連部品の受注が増加する一方で、半導体関連部品の大幅な受注減少があり、売上高は 4,678 百万円（前年同期比 579 百万円減）となりましたが、営業利益は、売上構成の変化や経費削減の徹底により 297 百万円（前年同期比 17 百万円増益）となりました。

(情報関連事業)

情報関連事業は、ソフトウェア開発の受託増加などにより、売上高は 1,120 百万円（前年同期比 15 百万円増）となり、営業損失は 30 百万円（前年同期比 23 百万円改善）となりました。

(その他の事業)

その他の事業の売上高は 100 百万円（前年同期比 0 百万円減）となり、営業損失は 18 百万円（前年同期比 11 百万円悪化）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少などにより 35,829 百万円（前期末比 696 百万円の減少）となりました。

負債合計は、長期借入金や未払法人税等の減少などにより、20,928 百万円（前期末比 838 百万円の減少）となりました。

純資産合計は、14,900 百万円（前期末比 142 百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、欧州経済の後退、中国経済の鈍化、米国の景気停滞懸念などによる世界景気の減速や、円高基調の継続、国内における消費マインドの低下など当社を取り巻く環境がさらに厳しい状況となることを勘案し、前回発表の通期連結業績予想（平成24年5月10日公表）の修正を行うことと致しました。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

平成25年3月期通期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,300	2,500	2,200	1,300	15.20
今回発表予想(B)	56,000	2,000	1,700	1,000	11.69
増減額 (B - A)	△2,300	△500	△500	△300	
増減率 (%)	△3.9	△20.0	△22.7	△23.1	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	58,058	2,528	2,500	1,608	18.81

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,692	6,614
受取手形及び売掛金	4,379	4,434
商品及び製品	3,237	3,506
仕掛品	1,541	1,489
原材料及び貯蔵品	1,318	1,513
その他	1,450	1,446
貸倒引当金	△193	△234
流動資産合計	19,426	18,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,965	4,894
機械装置及び運搬具(純額)	2,066	2,176
土地	5,983	5,983
その他(純額)	676	785
有形固定資産合計	13,692	13,840
無形固定資産	707	572
投資その他の資産		
繰延税金資産	298	275
その他	2,473	2,444
貸倒引当金	△73	△74
投資その他の資産合計	2,698	2,645
固定資産合計	17,098	17,059
資産合計	36,525	35,829
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,000	2,855
短期借入金	2,661	2,539
未払法人税等	644	268
賞与引当金	910	907
製品保証引当金	43	47
その他	3,319	3,604
流動負債合計	10,580	10,222
固定負債		
長期借入金	1,412	1,001
退職給付引当金	8,638	8,573
環境対策引当金	44	44
資産除去債務	651	652
その他	439	433
固定負債合計	11,186	10,706
負債合計	21,766	20,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,609	6,609
資本剰余金	744	744
利益剰余金	9,077	9,173
自己株式	△14	△14
株主資本合計	16,417	16,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168	144
為替換算調整勘定	△1,827	△1,757
その他の包括利益累計額合計	△1,658	△1,612
純資産合計	14,758	14,900
負債純資産合計	36,525	35,829

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	28,357	27,414
売上原価	21,084	20,401
売上総利益	7,273	7,012
販売費及び一般管理費	6,107	6,090
営業利益	1,165	922
営業外収益		
受取利息	15	21
固定資産賃貸料	26	32
持分法による投資利益	—	2
その他	56	40
営業外収益合計	98	97
営業外費用		
支払利息	75	46
為替差損	143	45
持分法による投資損失	5	—
その他	100	122
営業外費用合計	325	214
経常利益	938	805
特別利益		
固定資産売却益	0	0
土地売却益	4	—
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	39	—
特別利益合計	44	0
特別損失		
固定資産除却損	9	3
災害による損失	113	—
その他	0	0
特別損失合計	122	3
税金等調整前四半期純利益	859	802
法人税等	268	364
少数株主損益調整前四半期純利益	591	438
四半期純利益	591	438

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	591	438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△23
為替換算調整勘定	86	64
持分法適用会社に対する持分相当額	5	5
その他の包括利益合計	112	46
四半期包括利益	704	484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	704	484
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	楽器	教育 関連	素材 加工	情報 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,912	8,981	5,257	1,105	28,257	100	28,357	—	28,357
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	—	206	206	184	390	△390	—
計	12,913	8,982	5,257	1,311	28,463	284	28,748	△390	28,357
セグメント利益又は 損失(△)	276	795	280	△53	1,299	△7	1,291	△126	1,165

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△126百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△159百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	楽器	教育 関連	素材 加工	情報 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,700	8,814	4,678	1,120	27,314	100	27,414	—	27,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	2	194	196	210	407	△407	—
計	12,700	8,814	4,681	1,315	27,511	310	27,821	△407	27,414
セグメント利益又は 損失(△)	24	788	297	△30	1,079	△18	1,061	△138	922

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△138百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。